

2年

正



新年のごあいさつ

高浜市長
吉岡 初浩

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

今年「令和」で迎える最初の正月となりました。「令和」は明日への希望と共に、一人ひとりがそれぞれの大きな花を咲かせられるようにという願いを込めて選ばれました。異常気象により、毎年のように日本各地で災害がおきていますが、今年こそは穏やかで平和な一年となることを願わずにはられません。

さて、本市は昭和45年12月1日に高浜町から高浜市となり、今年で50周年を迎えます。市制施行当時約3万人だった人口も現在では4万9千人を超え、近い将来の5万人超えを見据えております。50周年記念キャッチフレーズを「ちようどいいまち ちよっといいまち これまでもこれからも」と定め、高浜市を支えてきた先人たちの想いをこれからの50年を創っていく世代に伝えていくため、さまざまな50周年記念事業を実施します。

また、市の歴史を後世に引き継いでいくことを目的に、約40年ぶりとなる市誌編さんの作業も進めております。

平成30年に始まった高浜小学校等整備事業では、昨年地域交流施設「たかぴあ」がオープンし、本年秋にはメインアリーナ、サブアリーナが完成します。地域コミュニティの拠点として、多くの市民に活用していただくことを期待しております。

昨春秋ラグビーワールドカップにおいて、日本が史上初のベスト8に進出しました。異なる文化や背景を持つ選手たちが目標に向かって一丸となつて戦う姿は、日本中に感動を与えました。少子高齢化や外国人の増加により、高浜の「まち」も「ひと」も常に変化を続けています。直面する行政課題に対し、職員自身も慣例にとらわれず、それぞれの役割において最良の成果を出せるよう全庁一丸となつて邁進してまいります。市民の皆さまにおかれましても「大家族たかほま」の一員として、より一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後に、新春の門出にあたり、市民の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申しあげ、新年のごあいさついたします。